

作成日	作成者 児童発達管理責任者 芦野勇希	令和〇年度 てんとうむし個別支援計画
-----	--------------------	--------------------

利用者氏名	記入例	生年月日	年齢
-------	-----	------	----

利用者及び家族の生活に対する意向	ご本人やご家族の意向を確認し、発達段階や特性等を踏まえた上で、計画を策定します。			
総合的な支援の方向	1年間を目途に、てんとうむしとして、どのような支援や取り組みを行うか方針を決め、計画を策定します。			
長期目標	ご本人やご家族の意向を確認し、発達段階や特性等を踏まえた上で、計画を策定します。 ※概ね1年間の計画となります。			
短期目標	ご本人やご家族の意向を確認し、発達段階や特性等を踏まえた上で、計画を策定します。 ※概ね半年間の計画となります。			
支援目標	支援内容	達成期間	優先順位	
レク	「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の5つの領域を中心に支援を進めていきます。 支援内容は、ご本人やご家族の意向を確認し、発達段階や特性等を踏まえた上で計画を策定します。支援内容および提供のポイントを考慮し、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の各欄にチェックが入ります。	健康・生活	6 カ 月	
		運動・感覚		
		認知・行動		
		言語・コミュニケーション		
		人間性・社会性		
食事	支援内容の達成期間は、おおよそ半年を目安にしています。 半年に一度のモニタリング時期に、支援内容の見直しや変更を行います。 支援の優先順位は、ご本人やご家族の意向を確認し、発達段階や特性を踏まえた上で決定していきます。	健康・生活	6 カ 月	
		運動・感覚		
		認知・行動		
		言語・コミュニケーション		
		人間性・社会性		
片づけ	支援の優先順位は、ご本人やご家族の意向を確認し、発達段階や特性を踏まえた上で決定していきます。	健康・生活	6 カ 月	
		運動・感覚		
		認知・行動		
		言語・コミュニケーション		
		人間性・社会性		
家族支援	ご家族をはじめとする同居者の負担を軽減し、問題解決に向けた意欲を維持できるように支援を進めていきます。	6 カ 月		
移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備・支援を進めていきます。同年代の子どもが交流できる環境を整備します。	6 カ 月		
地域支援・地域連携	相談支援事業所や他関係機関と連携し、必要な支援を進めていきます。	6 カ 月		
「緊急やむを得ぬ場合」の対応について	次の3つの状況の場合、やむを得ず最小限の身体拘束を行う場合があります。 ①利用者本人または他の利用者等の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い。 ②身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がない。 ③身体拘束その他の行動制限が一時的なものである。			

● 上記の計画について説明を受け、内容に同意し、交付を受けました。

説明者 児童発達管理責任者 芦野勇希	同意日	年	月	日	保護者署名
--------------------	-----	---	---	---	-------